

エルシーブイ FM 第 101 回放送番組審議会

1. 日時 2024 年 1 月 29 日（月）13 時 30 分から 14 時 30 分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社

3. 出席者 委員定数 6 名

出席委員 6 名

佐久 秀幸	委員長
宮坂 ちとせ	副委員長
宮原 渉	委員
茅野 徳雄	委員
岩波 尚宏	委員
宮坂 宥憲	委員

欠席委員 なし

放送事業者側 8 名

深井 賀博	代表取締役社長
大野 弘信	専務取締役
八幡 聡	放送制作部長
吉田 和晃	放送制作部 FM 制作課長
小池 利幸	放送制作部報道課長
早川 達朗	放送制作部編成課長
佐野 銀次朗	放送制作部制作課長
上條 綾子	放送制作部 FM 制作課

4. 議事次第

- ・自主制作番組「5 時スタ☆」について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

夕方の 5 時から始まり、星が見える時間になるころまでお送りする。

「パーソナリティーが自分で楽しめる」「1 日の疲れを癒す」をコンセプトにした生放送のレギュラー番組。開局以来続いた「トワイライト交差点」をリニューアルし、2023 年 4 月にスタート。一日を終える夕方の一時をゆっくりゆったりお聴きいただけるような番組を目指す。

自主制作番組「5時スタ☆」に関する主な意見としては

□企画趣旨について

- ◎昔聴いていたラジオ番組を思い出した。ゆっくり聞くという番組の趣旨は非常に良い。
- ◎夕方は車で聞く人が多い時間帯であり、番組を放送するうえでも良い時間である。
- ◎穏やかな流れで聴取できる好印象の番組だ。

□番組の構成・内容について

- ◎防災、防犯に関する情報、県や市町村からの情報が伝わるコーナーが役に立っている。
- ◎警察からの防犯、振り込め詐欺の啓発など定期的に情報を伝えて啓発することは重要。特殊詐欺の被害件数、消防の火災件数など地元で起きた件数を紹介することで、より分かりやすく伝わり、予防抑止につながっている。
- ◎防災情報、警察による振り込め詐欺防止啓発など、日ごろから地域に特化した内容を紹介していることが重要だ。
- ◎諏訪湖博物館の法性兜公開の話題、来館者数が増えたというだけでも地元の明るい話題はうれしい。
- ◎警察、消防の情報は大規模災害を自分事として考えなければいけないというメッセージになるはずだ。
- ◎詐欺被害は様々な手口があることがわかる。警察、消防の情報コーナーは非常に有益だ。

□パーソナリティー・トークの内容について

- ◎パーソナリティーの活舌が良く、声が通っていて聴きやすい。
- ◎1月15日の旧成人の日になみ「成人式にまつわる思い出」がテーマだった。パーソナリティーが、きょうの事、その日の事を何か話すと、聞いている人は、自分が今を、きょうを生きているということを感じる。
- ◎パーソナリティーの声は良い。キャラクターとしてのほか番組とのすみわけもできている。例えば「はなびラジオ」など番組ごとに個性を生かしてほしい。
- ◎生放送番組なので、いまの状況、夕方の様子がトークの中で入ってくると良い。家の中で何かしながらラジオを聴いているときに、まだ明るいのか、陽が暮れたのかが伝わると常にラジオを聴いていられる。

□その他

- ◎広域消防本部の職員が毎月出演していることを、広域連合の職員も知らなかった。出演者自身が、関係者に対して行うことも含めて、PRは必要だ。
- ◎リスナーメッセージは大切。アプリでメッセージを送る方法をPRしてみてもどうか。
- ◎メッセージをより多く得るために、翌日のメッセージテーマを前日に伝えてはどうか。番組に参加する人が増えるのではないかと。

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。